欧州特許庁（EPO）審判部、2025 年の年次報告書を公表

2026 年 5 月 28 日
JETRO デュッセルドルフ事務所

2026 年 5 月 12 日、欧州特許庁（EPO）審判部は、2025 年の年次報告書を公表した。本報告書は、2025 年における審判実務の実績を中心に、審理迅速化の進展、拡大審判部による重要判断、判例集の整備、ならびに組織基盤の強化といった主要な動向を示している。

具体的な内容は以下の通り。

2025 年は、審理迅速化の面で顕著な進展が見られた。技術系審判の係属件数は 2,220 件となり、前年末から 1,167 件減少した。とりわけ、24 か月を超える長期係属事件は 729 件から 234 件まで圧縮され、全体の 10.5%を占めるにとどまった。

また、拡大審判部は、G 1/24、G 1/23、G 2/24 の 3 件の付託事件について判断を示した。これらの決定は、クレーム解釈、先行技術の評価、上訴撤回後の手続の扱いといった、欧州特許実務の基礎に関わる論点を整理するものとなっている。

さらに、2025 年には『欧州特許庁審判部判例集（Case Law of the Boards of Appeal）第 11 版』が刊行され、月平均約 4 万 9,000 ページビューを記録するなど、実務家に広く利用されている法的リソースとして高いアクセス数を維持している。

組織面では、審判部が 2026 年末にミュンヘン中心部（PschorrHöfe）へ移転する予定であることが改めて示され、移転後も審判業務を円滑かつ継続的に遂行できるよう準備が進められている。

－ EPO のプレスリリース等は、以下参照 －
（プレスリリース）
https://www.epo.org/en/case-law-appeals/communications/annual-report-2025-boards-appeal-european-patent-office
（2025 年の年次報告書）
https://link.epo.org/web/case-law-appeals/annual-reports/en-Annual-report-of-the-BoA-2025.pdf

－EPO の審判部に関する欧州知財ニュースは、以下参照 －

- 欧州特許庁（EPO）審判部、審判請求が取り下げられた場合に審判から参加した者が審判 手続を継続できるかについての拡大審判部審決を公表 （2025 年 11 月 17 日）（PDF）（本文の G2/24）
- 欧州特許庁（EPO）審判部、先行技術を構成する技術水準の解釈についての拡大審判

部審決を公表（2025 年 7 月 28 日）（PDF）（本文の G1/23）

- 欧州特許庁（EPO）審判部、審判部審決集第 11 版を公表（2025 年 7 月 22 日）（PDF）
- 欧州特許庁（EPO）審判部、クレームの解釈における明細書及び図面の参酌についての拡大審判部審決を公表（2025 年 6 月 26 日）（PDF）（本文の G1/24）

以上